

「乳幼児歯科健診におけるカリオスタットと齲歯の関連」 についての疫学研究のお知らせ

標記の研究は、橋本市民病院倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。受診者に負担をおかけすることはありません。また、研究結果は専門の学会や学術誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

もし、研究にご自身やご家族の受診結果を使用されることに同意されない方は、下記にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。

同意されない場合でも、今後このことで不利益を被ることは一切ありません。また研究に関して、不明点がございましたら、いつでも下記にお問い合わせください。

【概要】 乳幼児歯科健診におけるカリオスタットと齲歯の関連

【研究期間】 京都大学の倫理委員会において承認されたのち、研究開始します。その後発表などを行います。2026年3月31日に終了予定です。

【対象】 2013年4月1日から2024年3月31日の間に1歳8か月児健診を受診した者

【目的】 本研究の目的は、地域におけるカリオスタット法の導入の効果を評価することである。

本研究を行うことで、1歳8か月児健診におけるカリオスタット法の導入効果や検査結果から齲歯予測することの有効性の確認が可能となるとともに、乳幼児歯科保健において、カリオスタット法の導入・継続・中止の可否判断材料となり得る。また関連する生活習慣と組み合わせた予測モデルの開発など、口腔衛生改善を目的としたハイリスクアプローチのための基礎資料を提供することが可能となる。

【方法】 健診結果から情報収集します。

【個人情報】

個人情報は切り離され、研究者の元に手渡されます。その場合でもこの情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外いたします。

【問合せ】

分担研究者：京都大学客員研究員 平山陽士

電話番号：075-753-9467

(京都大学大学院 医学研究科社会健康医学系専攻 医療疫学分野)